

# 「フクシマから東京ゲームショウへ」

2011年3月11日、東日本大震災発生。

毎年出展しているこの東京ゲームショウに向けて準備を進めていた最中、日本史上最大規模といわれる災害に本校も見舞われました。

福島県郡山市にある本校も校舎やパソコンなどの備品破損、一部学生に至っては自宅損壊や原発問題による避難勧告等、学校再開への影響もありましたが、幸いにも学生、教職員の人的被害はなく、校舎及び交通機関の復旧を経て、5月から遅れてようやく授業が開始できました。

しかしながら、震災の影響による2ヶ月の空白期間は、ゲーム作品の制作スケジュールに大きな影響を与えた為、一時は今年度のゲームショウ出展を取り止めることも検討せざるを得ない状況でした。

そのような教職員、学生全員が先行きの見えない大きな不安を抱えている中、私たちに大きな勇気と希望を与えてくれたのは、日本各地、世界中の方々から頂いたたくさんの励ましと支援、そして復興に向けて歩み始めたフクシマの姿です。

この復興に向かう姿を目の当たりにした時、私たちは考えました。それは「教育機関である本校には何ができるのか」ということを。そしてそれは教育を通して学生達の夢を実現させることに他ならない、ということに改めて気付かされたのです。

ゲームの世界に憧れ、仕事として将来携わりたいと願う学生達が自分の夢をカタチにするため、短い制作期間の中で努力を重ねて制作したゲームをこの東京ゲームショウに出展させていただきます。

ぜひ、学生の作品を体験して下さい。

ゲームは人々に面白さと楽しさ、そして感動と癒しを与えてくれるものです。だからこそ、この先の日本、そしてフクシマの復興にもゲームは必要な存在ではないでしょうか。いつか将来、学生たちが創ったゲームが人々に必要とされ、愛される、そんな時がくることを願っています。

また、本校は姉妹校のFSGカレッジリーグ各校とともに「ACTION 今やる今動く」のスローガンのもと、地元地域、そしてフクシマの復興のために、学生たちによる被災者へのボランティアや復興に向けたイベントなど様々な活動に取り組んでいます。

私たちの故郷・福島復興はまだ途中ですが、若者の夢と力こそが未来の幸福と豊かさにつながると信じ、これからも歩み続けていきます。